

2024年度 熊取学童保育所保護者アンケート 集計結果

平素は学童保育所の運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、先日実施した「2024年度熊取学童保育所保護者アンケート」の集計結果がでましたので、みなさんにご報告します。アンケートの評価やみなさんからいただいた意見については、今後の取り組みや運営、改善にいかしていきます。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

《実 施 内 容》

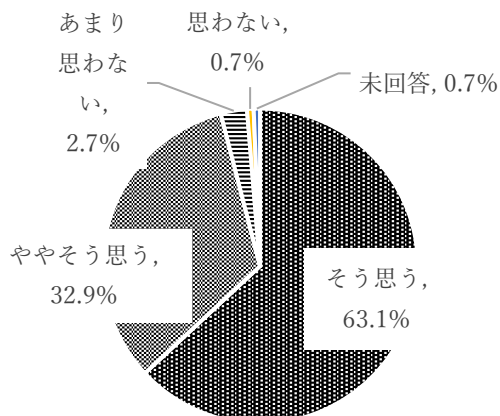
- ・実施期間 2024年12月9日～2024年12月20日
- ・配布対象 熊取学童保育所在籍家庭（12月在籍）487家庭 ・回収数 298家庭（61.2%）

* 現在学童保育所に通っておられるお子さんの学年

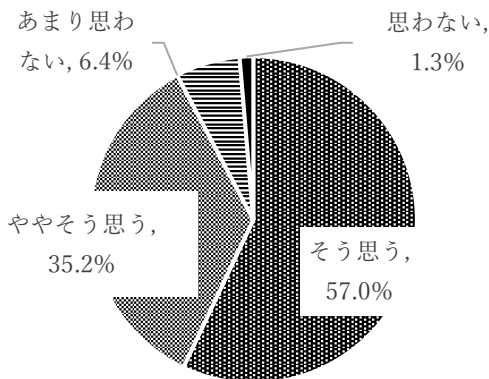
1年生	129	2年生	124	3年生	118	4年生	69	5年生	40	6年生	26
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----

I 学童保育所の保育について

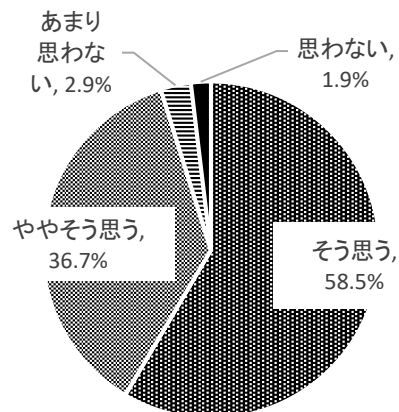
1. 子どもは、安心して楽しく学童保育所に通えていると思いますか？



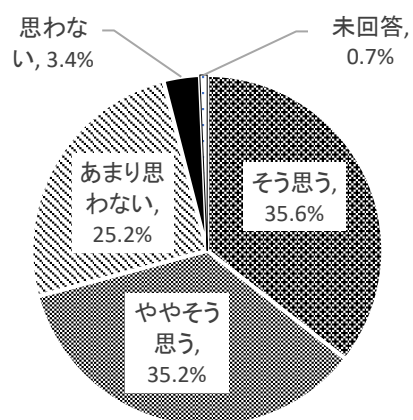
2. 学童保育所での保育内容や保育目標は、子どもの年齢や発達に応じたあそびや生活になっていると思いますか。



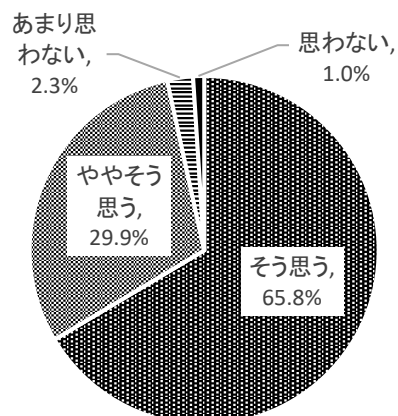
3. 学童保育所での保育内容は、社会性や集団行動への適応力を身につけるための取り組みがなされていると思いますか。



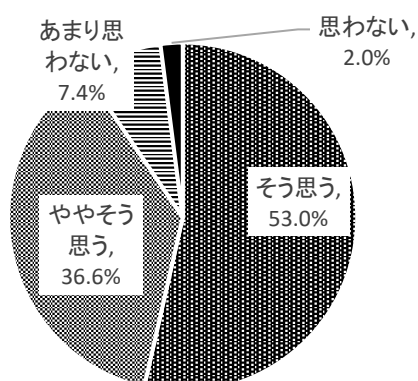
4. 子どもたちにとって放課後の時間帯に必要とされるおやつは、適切に提供されていると思いますか。



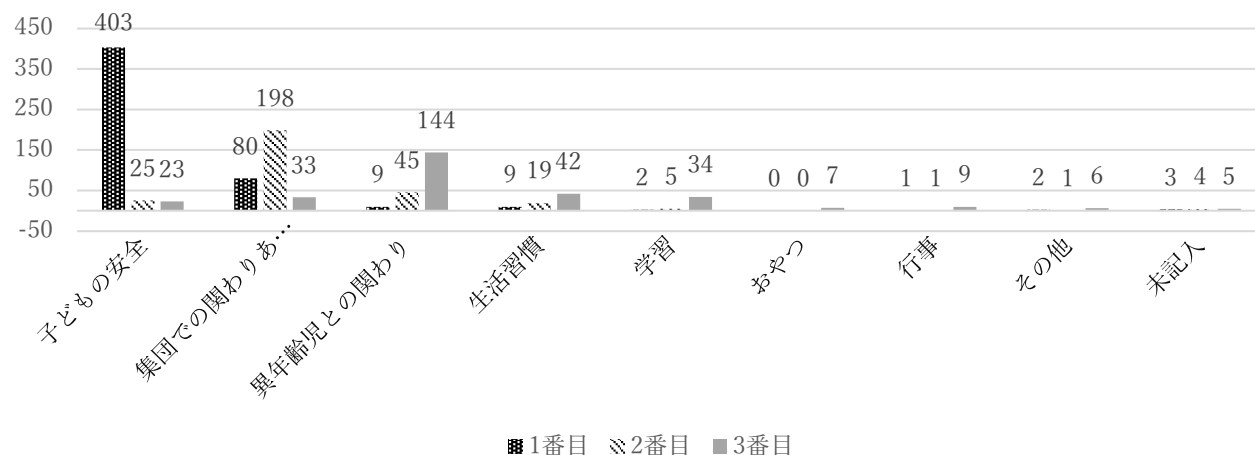
5. 体調不良やけがなどの処置・保護者への連絡などの対応は、適切だと思いますか。



6. 学童保育所の懇談や家庭訪問、おたよりやマチコミメールなど家庭との連絡は十分だと思いますか。

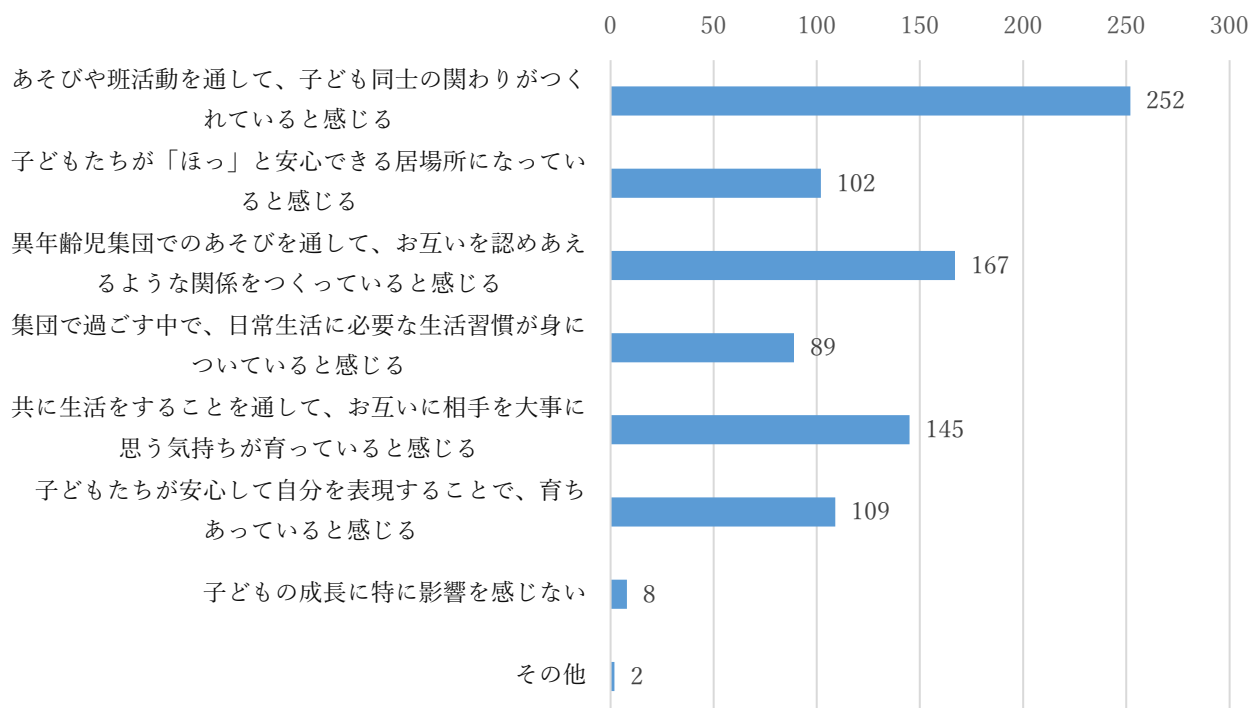


7. 学童保育の保育内容で重要だとお考えのものを下記の中から3つ選び、()に優先順位を1～3の数字でお書きください。



8. 学童保育所での生活は、子どもの成長にとってどのような影響を及ぼしていると感じますか。

あてはまるものすべて()に○をつけてください。



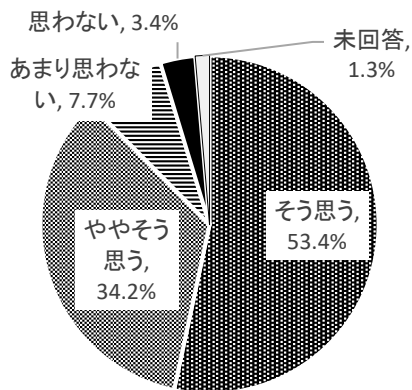
「学童保育所の保育について」の設問では「そう思う」の回答が50%以上あり、「ややそう思う」を合わせるとほとんどの設問で90%以上の高い評価をいただいています。

ただ、4. 放課後のおやつは適切に提供されているかについては、「そう思う」「ややそう思う」を合わせ70%の評価で、昨年度比で約10%下がっています。内容については、物価高騰の影響もありますので計画的に提供できるようなやりくりが必要となっています。これまで以上にどのクラブも計画的な提供に努めていけるように指導していきます。

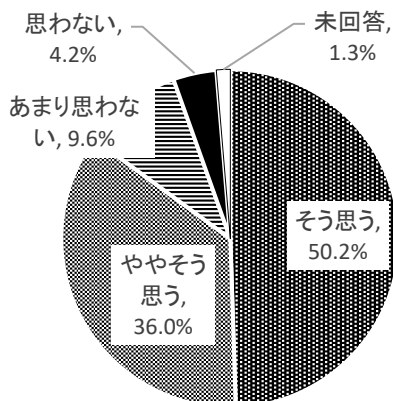
学童保育所は、おやつの中には、安全確認と休息・補食・水分補給の時間、何よりクラブのみんなが集まって顔を合わせる時間と位置付けています。平日は、ほぼ1～6年生がそろそろ16時以降より準備をしています。子どもたちは年齢差や体力差、各家庭の夕食の時間の違い等で、空腹具合や生活時間に個人差があると思いますので、夕食に影響が出ている場合には、個別対応をさせていただきますので支援員にその旨を相談していただくようお願いします。

Ⅱ 保護者と支援員の連携について

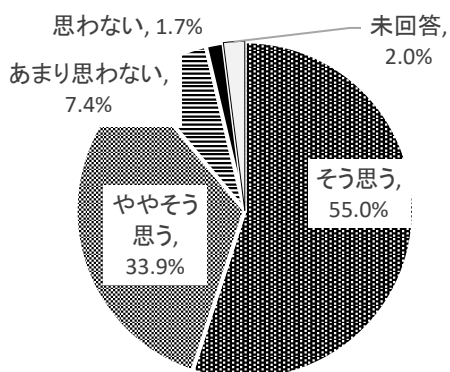
1. 保護者に、支援員から日常的に子どもの遊びや生活の様子が伝えられていますか。



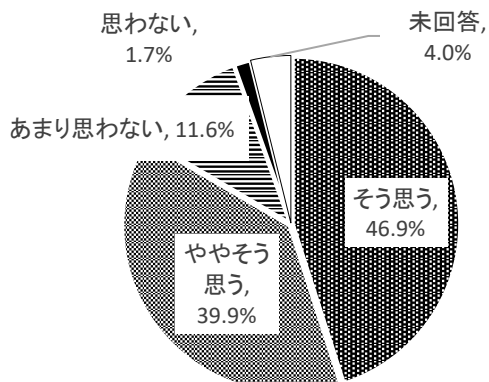
2. 子育て等のことについて、支援員は相談しやすい雰囲気がありますか。



3. 保護者または子どもが困っていることを支援員に相談した際、支援員は子どもや保護者の立場に立って、迅速・丁寧な対応や説明をしていると思いますか。



4. 子どもについて知ってほしいことを保護者が伝えた際、支援員同士で情報が共有されていると思いますか。



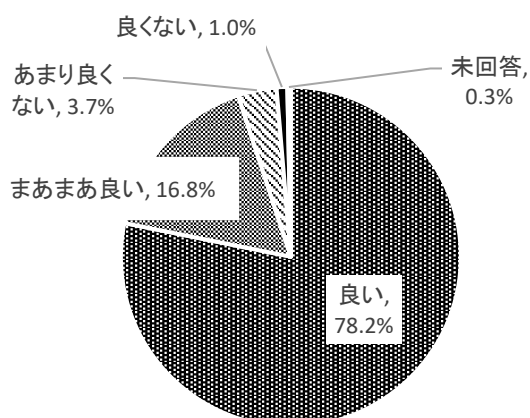
「保護者と支援員の連携」の設問では、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、すべての設問で80%以上の評価となっています。4. 支援員同士の情報共有については、「そう思う」が7%減となっており、準職員代替配置のクラブが増えていること等を含めて、各クラブ・各学童で共有・連携をどうつくりあげていくかが課題となっています。

放課後児童クラブ運営指針には、「学童保育所の活動を保護者に伝えて理解をえられるようにすること」とあります。当法人は、保護者・支援員が信頼関係を構築し、こどもたちの成長を共にみまもるパートナーとなれることをめざしています。クラブにより評価に偏りがあることを含め、「あまり思わない」というご意見も含め、課題の克服に努めていきます。

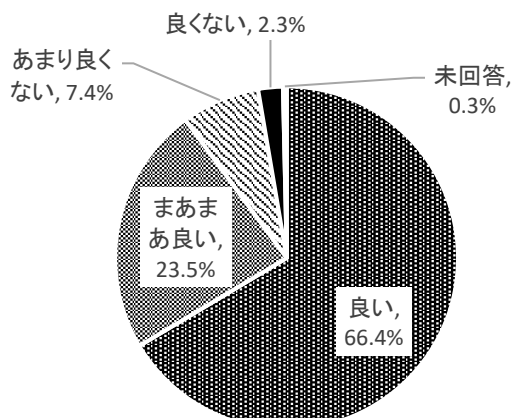
Ⅲ 支援員の資質向上について

1. 職員の資質向上のためにお聞きします。対応についてあてはまるものに○をつけてください。

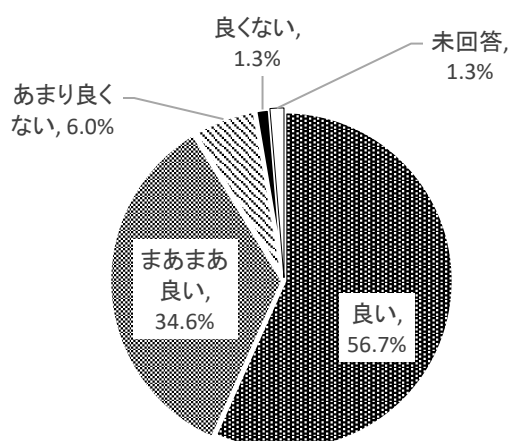
① あいさつ



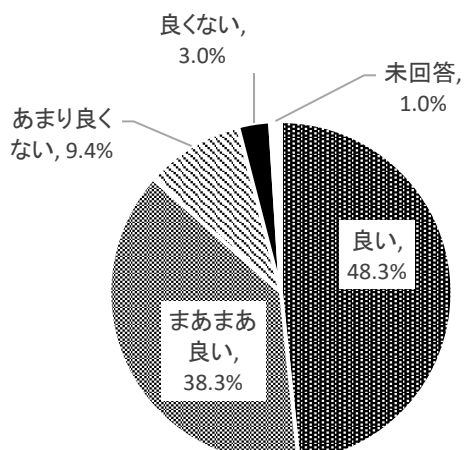
② 言葉遣い



③ トラブル対応



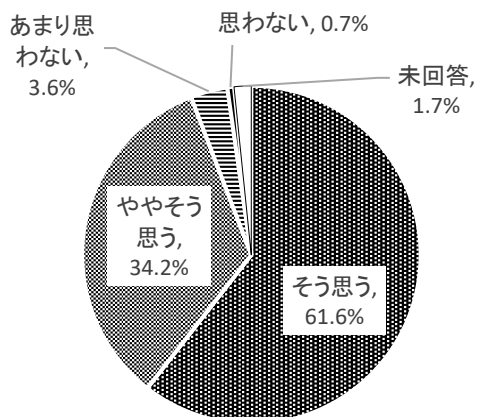
④ 安全や危機管理意識



⑤ その他職員に期待することをご自由にお書きください。(複数意見:全 58 件)

・「よくしてもらっている」「今のまま十分です」「満足です」「感謝してもしきれないくらい」	17件
・保護者へのあいさつ・子どもへの声掛けの徹底	7件
・態度・言葉遣いが悪い	5件
・防犯・安全意識の向上。	4件
・指導員間の連携と情報共有の徹底をしてほしい。	3件
・宿題の声かけ・宿題の時間をとってほしい。	3件

2. 支援員は子どもひとりひとりの様子や気持ちを把握し、楽しく通えるように働きかけていると思いますか。



「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、すべての設問で86%以上の高い評価をいただいています。

⑤「職員への期待すること」は、満足・感謝の意見がご意見の30%を占めていますが、保護者への挨拶・子どもへの声掛けの徹底と態度・言葉遣いがわるいとの意見も20%あります。2「気持ちを把握した子どもへの働きかけ」の質問については、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると96%となります。

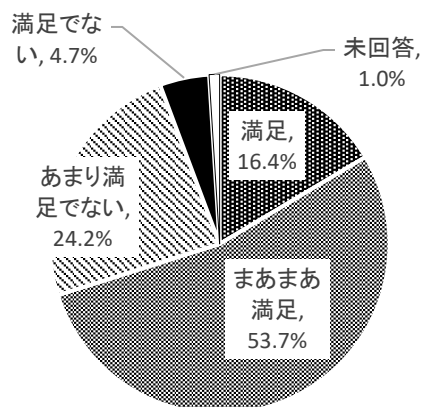
「あまり思わない・思わない」、「ご意見・ご要望」でいただいた内容については、各学童別に整理し、当該学童保育所責任者とクラブの支援員に伝えて、検討し必要なことを指導していきます。

当法人は各学童保育所に責任者を配置し、各クラブ支援員が保育現場で起こる様々な事案をリアルタイムで報告・連絡・相談をおこなうこと、責任者は主任支援員・統括責任者と共有・連携をおこない、判断と指導をしていくことで、全体の資質向上に努めていきます。

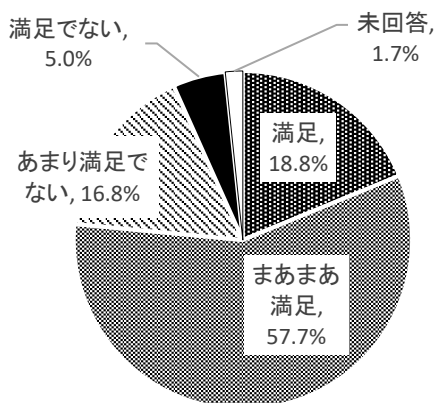
IV 施設・設備、衛生管理、安全対策について

1. 学童保育所の環境についておたずねします。

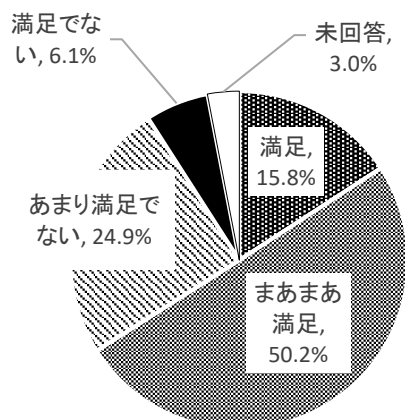
① 現在通っている学童保育所の施設整備について



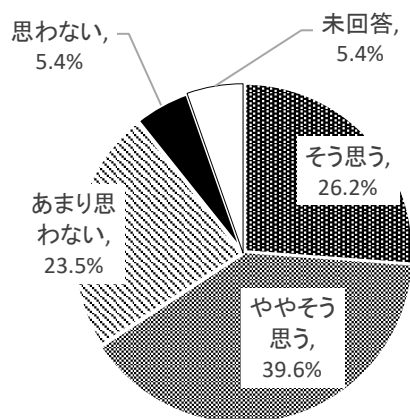
② 現在通っている学童保育所の備品(家具や家電)について



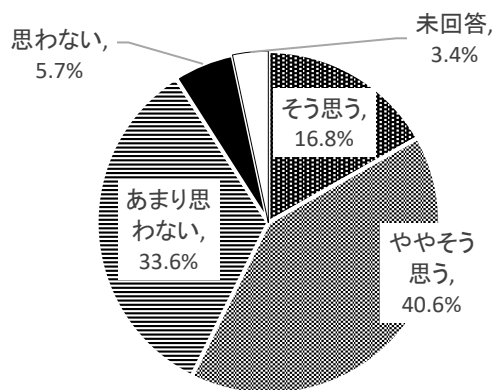
③ 現在通っている学童保育所の衛生管理・清掃状態について



2. 災害発生時の緊急連絡や安全対策、また不審者対応などの危機管理面について、十分に取り組んでいる姿勢が見られますか。



3. 感染症対策について、十分に実施できていると思いますか。



施設整備・備品・衛生管理等の保育環境については、昨年度より「思う」「やや思う」の回答が約10%減少しています。設問でいただいたご意見を含めて、法人が改善すべきところと、熊取町とともに施設整備要求をしていくところ等を、各学童別の課題を整理して取り組んでまいります。

災害発生時の緊急連絡、不審者対応危機管理については、「あまり思わない」が23.5%あることを含め、毎年配布の「入所のしおり」にて掲載していますが、随時、法人の対応について保護者にお伝えしていきます。

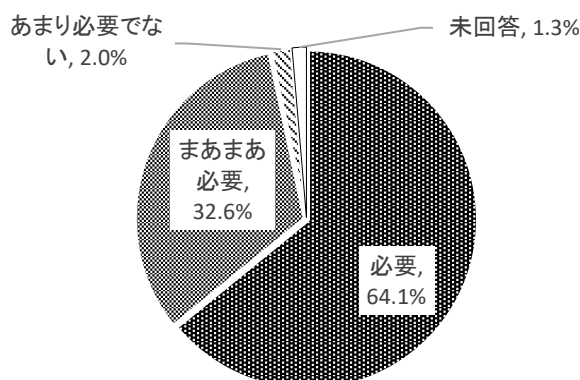
学童入り口門のセキュリティ強化は、すでに設置責任者である熊取町に必要性を伝えていきます。防犯対策として学童保育所保護者の入門許可書を発行していますので、送迎の際には保護者等に入門許可書を着用していただき、保護者以外の来所の場合にすぐに対応できるように対策をおこなっていますので、ご協力をお願いします。

当法人は危機管理マニュアルを作成し、毎年、年度当初に職員研修を実施し、事故や非常時の対応とともに、日常の基本の安全確保についての業務を明確に示しています。また防火管理者を各施設に配置し防火管理者を中心に、年2回避難訓練を実施しています。安全対策に対する取り組みについては、学童保育

V 当法人の学童保育運営等について

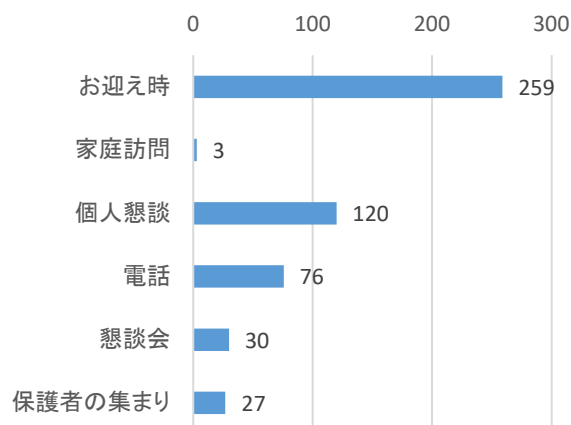
1. NPOの学童保育所は「子育て・親育ち・とも育ち」を大切にしています。

①学童保育所で子どもの様子や話を聞くことや話すことについてどう思われますか。あてはまるものに○をつけてください。

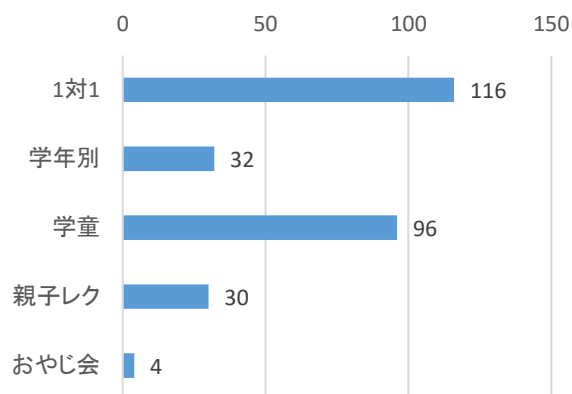


AまたはBに○をつけた方へ →どのような形で話を聞いたり話したりするのが良いと思われますか。あてはまるものすべて()に○をつけてください。

◎支援員から話をきいたり話したりする



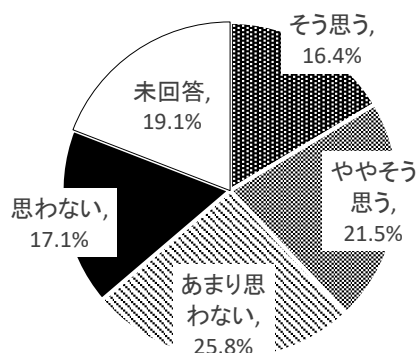
◎同じ学童保育所の保護者から話をきいたり話したりする。



○「子育て・親育ち・とも育ち」について

学童保育所の子どもの様子を聞くこと話すことについては、「そう思う」「ややそう思う」の回答が約97%あります。放課後児童クラブ運営指針には、「学童保育所の活動を保護者に伝えて理解をえられるようにすること」とあります。当法人は、保護者・支援員が信頼関係を構築し、こどもたちの成長を共にみまもるパートナーとなれることをめざしています。日々の連絡を含めた信頼関係の構築とともに、支援員は各クラブの保護者懇談会開催や保護者会に出席し、子どもたちの様子を話すとともに保護者の願いをくみ取った運営に努めてまいります。

2. 学童保育所では要望や不満に対する窓口を設けていますが、その窓口は保護者にとって利用しやすいですか。



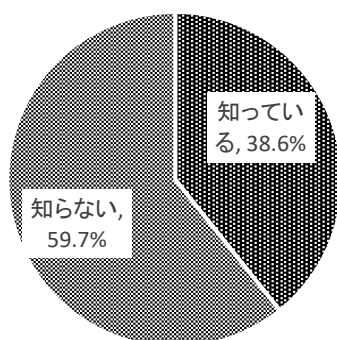
○要望・不満に対する窓口について

「あまり思わない・思わない」の回答が43%あります。当法人は、保護者のご意見や発生した苦情に対して、保護者の立場に立って誠意ある解決を図り、安心して預けていただくことが必要であると考えています。日常的に保護者と支援員が連携していくことが大切です。気軽に各学童保育所専任支援員、もしくは学童保育所事務所(主任支援員・統括責任者)までご連絡をください。

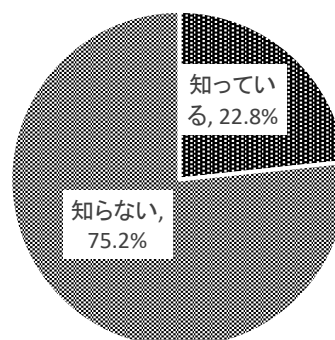
要望・不満に対する窓口は、入所のしおりや学童保育所通信「おかえりい」でお伝えしていますが、広く周知していく必要がありますので、周知方法について検討していきます。

3. 熊取町学童保育所は、2021年6月、熊取町の「指定管理者制度に関する運用指針」が改定され、学童保育所は公募ではなく随意選定とすることが決定され、公募の場合と同様に指定管理者選定委員会にて審査が行われ、2022年4月から2027年3月まで当NPOが指定管理者として指定されることが決まりました。

① 指定管理者制度
をご存じですか。



② 学童保育所の指定管理者の選
定が公募ではなく随意選定になっ
たのをご存じですか。



○指定管理者制度と随意選定、NPOの運営について

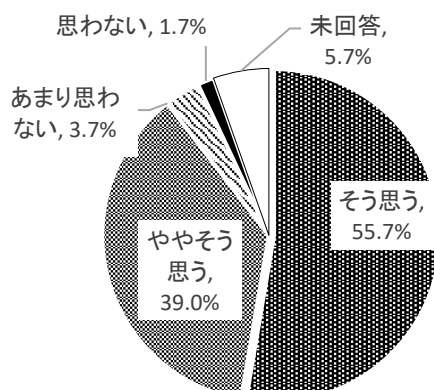
熊取町の学童保育所は、2016年度まで民設民営で熊取町の補助金を受けながら37年間当NPO法人が運営してきました。2016年に熊取町「学童保育条例」が制定され、2017年度より公設民営で指定管理者制度が導入され、公募により当法人が指定管理者として選定され、5年間、熊取町学童保育所の運営・管理をおこないました。

Ⅱ期目の事業者選定を迎える2020年12月、熊取学童保育連絡協議会（保護者・OB・支援員による任意の組織）から住民・保護者を中心に4000名以上にも及ぶ「随意選定による事業継続を求める請願署名」が提出され、町議会本会議で採択されました。これを受けて熊取町は2021年4月、熊取町指定管理者制度評価委員会を設置し「指定管理者制度に関する運用指針」の改定が議論されました。

その中で「学童保育所は、子どもたちの保育の継続性が子どもたちの成長と発達を保障するうえで極めて重要であるという認識のもと、随意選定により一定程度の期間、継続して保育ができる体制を構築することが望ましい」という提言がだされ、運用指針の改定が決まりました。

このような経過のもと、2021年10月指定管理者選定委員会にて当法人の書類審査やプレゼンテーションと質疑応答、承認を経て、熊取町12月議会の議決を得て、2022年度から随意選定により当NPOがさらに5年間指定管理者として学童保育の運営をすることになりました。2024年度は指定管理者Ⅱ期3年目の運営をおこなっています。

③現在、指定管理者として「NPO熊取こどもとおとなのネットワーク」による運営をおこなっていますが、順調に運営されていると思いますか。



当法人の運営に関して、順調に運営されているとの回答が「そう思う、ややそう思う」を含めると、95%以上あります。が、人材不足についての意見も複数いただいています。当法人として支援員不足は学童保育の運営・育成支援の質に直結する課題と受け止めています。引き続き、処遇改善や雇用継続に向けた様々な取り組みをおこなっていきます。

熊取町学童保育所を熊取町と協働しながら運営・管理する指定管理者として、子どもが安心して過ごせる場となるよう、保護者等の就労を保障し安心して預けられていただけるように、NPO法人のHPや情報誌瓦版等で、運営等についてお知らせしていますので、お読みいただき、ご質問やご意見をお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。

4. 学童保育所へのご意見・ご要望（54名）

◆安心して仕事ができる。こどもの居場所となっている、安心して預けられるなど、感謝の声が20件、寄せられています。一部抜粋となりますが、紹介させていただきます。

- ・子どもを預かるということは精神的なプレッシャーも多々あるかと思います、ありがとうございます。
- ・本当に感謝としかありません。今のままずっと安心して預けられる環境でいてください。
- ・限られた予算でよく頑張っていると思います。居場所・たまり場・あそび場・泣き・怒り場所に、いつも大人(支援員)が存在しているだけでも、子ども不安定な気持ちにならないと思います。
- ・保護者のクレームを怖がらずに、大切なことは伝えていくことを応援します。
- ・子どもたちの目線に立っていつも寄り添っていただき、ありがとうございます。子どもは外で元気よく遊んでくれるのが一番です。
- ・入所したときからこどもの目線で遊んで指導してくださり、とても安心して預けることができます。
- ・学年が上がってくると子どもの関わり方も難しくなる一方、丁寧に関わって下さるのでとても安心して利用させてもらっています。
- ・私たち家族だけではここまで成長できなかったと思います。心を成長させてくださってありがとう。
- ・おかげさまで安心して仕事をさせてもらっています。
- ・引きつづき、見守っていただきたいです。
- ・暑い日も寒い日も子どもと一緒に遊んでくれており、頭が下がります。
- ・指導員さんには大変お世話になっています。指導力向上を期待しています。
- ・預かっていただける場所はとてもありがたいので、よろしくお願いします。
- ・いろいろな子どもたちがいて遅くまでいつも大変だと思いますが、これからもよろしくお願いします。

◆保護者のご意見・ご要望については、全体として取り組むべき課題と、各学童保育所支援員に報告し、改善に努める項目を整理していきます。(複数のご意見)

◎支援員へのご意見・ご要望	・資質向上・意識向上を	(7件)
	・対応能力のバランスを考えた配置・人事異動を	(3件)
	・非常勤の固定化・対応力の向上を	(2件)
◎育成支援の内容に関してご意見・ご要望	・所外保育の実施・季節あそび・行事を	(3件)
	・忘れ物のないように声掛けを	(2件)
	・宿題の時間を	(2件)
◎クラブ増設・高学年まで保育の継続を		(4件)
◎おやつの量・質の改善を		(2件)

VI. 保護者から子どもたちに聴いていただきました

① 学童保育所でたのしいこと(とき)は、どんなこと(とき)ですか？ 記入数 295名

- ◎ともだちと遊んでいるとき、みんなで遊んでいる、外でおもいっきり遊ぶ 268名
ドッチ・かわわたり・野球・一輪車・おにごっこ・社部長・サッカーなどをしているとき
- ◎おやつを食べている時 21名
- ◎食事作り・おやつ作り 7名
- ◎ともだちと話している時 7名
- ◎ともだちと一緒にすごしているとき 5名

② いま、しあわせを感じるのは、どんなとき(こと)ですか？ 記入数 260名

- ◎ともだちと遊んでいるとき、好きなことをしているとき 106名
野球・サッカー・バスケ・カードゲーム・どろだんご・だんぢりをしているときなど
- ◎おやつ、好きなおやつやお菓子を食べているとき 31名
- ◎おいしいご飯・好きなご飯を食べているとき 25名
- ◎ゲームをしているとき、YouTube や動画・テレビを見ている時 25名
- ◎目標が達成できたとき、〇〇に勝った時、ほめられた時 19名
- ◎本を読んでいるとき、ゆっくりしているとき、お風呂に入っているとき 12名
- ◎ハグしているとき、ギューってしてもらうとき、ママと寝るとき 6名
- ◎旅行、おでかけ 5名
- ◎ない、わからない 11名

熊取町は、2022年4月に「子どもの権利に関する条例」施行し、2025年3月には「こども計画」を策定しました。「こども計画」の基本理念には、「1. 子ども・若者一人ひとりを権利の主体として尊重し、こども・若者の最善の利益を第一に考える」とあります。

学童保育所は、「こどもの最善の利益を保障」できるように努めること、「こどもの状況や願いを把握」し、育成支援にいかすことが求められています。今回のアンケートでは、「学童保育所に通うこどもたちの生の声を聴こう、聴きたい」と、この設問を設けました。

子どもたちの声からは、学童保育所でのびのびとあそびに夢中になりたいという心の声が聴こえてくるようです。こどもたちの声に耳を傾けながら、「明日もまたあそぼな」「〇〇をいっしょにやろうな」「おやつ、おいしいなあ」と、こどもたち・支援員が声をかけあい共感できるように、一人ひとりのみんなの「居場所」「拠りどころ」としてはぐくまれるように、これからも学童保育所の運営に努めてまいります。